

赤十字サポーターへの加入のお願い

日本赤十字社広島県支部では、赤十字活動を継続して支援していただく企業を、「赤十字サポーター」として認定し、社会貢献活動におけるパートナーシップを確立しています。

国内の災害救護活動など様々な赤十字の事業に対し、活動資金での支援や企業・団体の関連事業による協力を通じて、当支部をサポートいただける企業・団体を募っております。



○赤十字サポーター認定資格

広島県支部の活動資金として、毎年10万円以上を支援いただく企業・団体

※赤十字サポーター認定法人 46社
(平成29年12月現在)



赤十字サポーター認定証

あなたの「救いたい」思いを赤十字に

遺贈・相続財産の寄付

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「個人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いお申し出が増えています。

日本赤十字社は、このような尊いご意思に応えるために遺言によるご寄付（遺贈）、相続財産のご寄付を承っておりますので、ご関心をお持ちの方は、広島県赤十字有功会事務局までご相談ください。

人間ドック 会員優待のご案内

日頃から赤十字事業に対し、ご理解とご支援をいただいていることに、感謝の意を込めまして、有功会会員の方に人間ドックを、特別料金で対応させていただきます。

去年は、広島赤十字・原爆病院の1施設だけでしたが、今年は庄原赤十字病院、三原赤十字病院の2施設においても、人間ドックを受けていただくことができます。

健診期間、金額等の詳細につきましては、広島県赤十字有功会事務局までお問合せください。

お問い合わせ



WEB で

○広島県赤十字有功会事務局

所在地：〒730-0052

広島県広島市中区千田町2-5-64

日本赤十字社広島県支部 組織振興課内

連絡先：電話(082)545-5011、FAX(082)240-2741

URL：https://www.hiroshima.jrc.or.jp/merit

●有功会会報「有功ひろしま」15号 平成30年1月発行



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

～広げよう有功の輪～

有功ひろしま

有功会会報

15号

平成29年度広島県赤十字有功会総会 開催

平成29年7月6日(木)、平成29年度広島県赤十字有功会総会がメルパルク広島(広島市中区)で開催され、同有功会会員等73名が参加しました。

総会では、平成28年度に日本赤十字社広島県支部に対し、高額の活動資金を支援していただいた方々へ表彰伝達が行われ、高垣広徳 副支部長から個人3名、法人23社に金色有功章等が伝達されました。表彰伝達に引き続き「平成28年度事業報告・決算」、「平成29年度事業計画・予算」及び「広島県赤十字有功会役員改選」について審議され、

原案のとおり全会一致で承認されました。

その後、広島赤十字・原爆病院 副院長兼第一整形外科部長 有馬準一 先生から「骨粗鬆症と骨折について～整形外科医からのメッセージ～」と題して、ご講演をいただきました。

総会終了後に行われた意見交換会では、湯崎英彦 支部長の乾杯により和やかな雰囲気のもと会員相互の交流が図られ、今後の有功会の発展について意見交換が行われました。



金色有功章の伝達(学校法人古沢学園)



有馬 副院長による講演



会長挨拶

広島県赤十字有功会 会長

角廣 勲

新年あけましておめでとうございます。

有功会の会員の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では7月に九州北部地方や秋田県内での記録的な大雨による災害や台風18号、21号による災害が発災しており、また海外では7月にインドやネパール等でモンスーンによる豪雨に伴い大規模な洪水や土砂災害により、各地で大きな被害が出ました。

私ども広島県赤十字有功会といたしましては、日本赤十字社の災害救護を中心とした各種活動を今後とも支えるべく、財政的な支援をはじめ様々な取り組みを実施してまいり所存です。会員の皆様方におかれましては、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに今年が被害のない穏やかな1年でありますように、そして本年が会員の皆様方にとりまして、よき1年となりますよう祈念いたしまして、私の新春の挨拶といたします。

平成29年度 日赤紺綬・有功会 会長協議会総会 開催

平成29年10月19日（木）、20日（金）の両日、香川県高松市のＪＲホテルクレメント高松で「平成29年度 日赤紺綬・有功会 会長協議会総会」が開催され、広島県赤十字有功会からは幹事の泉水 広島県支部事務局長が出席しました。

総会では、平成28年度収支決算報告、平成29年度会計収支中間報告について協議されました。また中四国ブロックの活動報告として、島根県から活動状況を発表し、積極的な情報交換が行われました。



香川県高松市での総会

広島県赤十字有功会役員紹介

役職名	氏名	現職(法人) 居住地(個人)	役職名	氏名	現職(法人) 居住地(個人)
会長	角廣 勲	株式会社広島銀行 代表取締役会長	常任委員	遠野 光秀	宗教法人法瀧寺 住職
副会長	野坂 文雄	株式会社もみじ銀行 会長	常任委員	山根以久子	株式会社サンポール 代表取締役社長
副会長	木原 和由	株式会社サタケ 専務取締役	常任委員	池田 浩直	鯉城タクシー株式会社 代表取締役社長
副会長	田村 興造	広島ガス株式会社 代表取締役会長	監事	岡田 民男	松電産業株式会社 代表取締役会長
常任委員	小川 壽	広島市南区	監事	小松 節子	株式会社メンテックワールド 代表取締役社長

平成29年会員動向・新規会員紹介

◇会員動向 【個人】72名 【法人】267社 （平成29年12月現在）

◇平成29年新規会員紹介 ご入会いただき、ありがとうございました。（順不同・敬称略）

●個人（4名）

会員名	角本 伸晃	角本 弘子	桂木 弘二	森元 國行
市区郡	東京都渋谷区	東京都渋谷区	広島市中区	広島市西区

●法人（35社）

会員名	市区郡	会員名	市区郡	会員名	市区郡
フジミ工業株式会社	安芸郡府中町	株式会社ひのき	広島市西区	株式会社中和商会	広島市西区
復建調査設計株式会社	広島市東区	公益社団法人広島東法人会	広島市中区	株式会社フカイ	福山市
株式会社八天堂	三原市	株式会社黒野金属	呉市	佐藤汽船株式会社	尾道市
広島ガスプロパン株式会社	安芸郡海田町	中国化薬株式会社	呉市	一般社団法人広島県医師会	広島市東区
長沼商事株式会社	広島市中区	株式会社フジ・フシグラン尾道店	尾道市	株式会社サンネット	広島市中区
株式会社シソタ中国	広島市中区	光元設備工業株式会社	東広島市	福留ハム株式会社	広島市西区
株式会社広島ホームテレビ	広島市中区	中川製袋化工株式会社	大竹市	トヨタカローラ広島株式会社	広島市西区
株式会社鴻治組	広島市安芸区	株式会社広島バスセンター	広島市中区	玉力汽船株式会社	呉市
広島トヨタ自動車株式会社	広島市中区	株式会社増岡組広島本店	広島市中区	株式会社久保田本店	広島市中区
株式会社中国新聞文化事業社	広島市中区	株式会社広島パーキング	広島市中区	大之木建設株式会社	呉市
城東商事株式会社	広島市東区				

（他4社）

慶弔報告

◇平成29年（春・秋）叙勲・褒章受章者

心よりお慶び申し上げます。

氏名	職名	叙勲・褒章
角廣 勲	株式会社広島銀行 代表取締役会長	旭日中綬章
田村 興造	広島ガス株式会社 代表取締役会長	藍綬褒章
中野 信博	株式会社カルフト 代表取締役社長	藍綬褒章

◇お悔み

謹んでご冥福をお祈りいたします。

氏名	所在地又は職名	有功会役職
古川 浩	広島市中区	副会長
筒井 數三	株式会社シンコー 名誉会長	前監事

青少年赤十字活動への支援事業報告

広島県赤十字有功会は、平成29年度に日・韓青少年赤十字相互交流事業をはじめ様々な青少年赤十字活動を支援しています。

日・韓青少年赤十字相互交流事業の実施 ～固い絆で結ばれた国際交流～

平成29年7月27日（木）～8月13日（日）で、日・韓青少年赤十字相互交流事業を実施しました。

この事業は、青少年赤十字の目標の一つである「国際理解・親善」の一環として、韓国の忠南（チュンナム）支社と広島の青少年赤十字メンバーが両国を訪問し、歴史や文化を学びながら相互理解などを深めることを目的に、平成3年（1991年）から実施しています。

7月27日（木）からの8日間、広島の青少年赤十字メンバー8名が忠南を訪問し、赤十字施設での

カップケーキ作りやロケ地として有名な聞慶（ムンギョン）セジェ州公園での登山、ホームステイなど、韓国の文化を体験しました。

続いて8月7日（月）から1週間、忠南の青少年赤十字メンバー14名が広島を訪れ、赤十字施設や平和記念公園の見学、広島市女性赤十字奉仕団との折り紙や茶道の日本文化体験、ホームステイなど様々な活動を行いました。

最初は言語や文化の違いに戸惑っていた生徒たちでしたが、約2週間の相互交流で友情を深めました。



忠南の赤十字施設でカップケーキ作り



広島市女性赤十字奉仕団と折り紙を体験

青少年赤十字広島県大会の開催

平成29年10月28日（土）、広島市立井口中学校で青少年赤十字広島県大会を開催し、加盟校の生徒等、約120名の方が参加しました。

この大会は、青少年赤十字広島県指導者協議会と支部が主催し、生徒の相互交流と親善を深め、青少年赤十字活動の充実発展を図るために実施しており、赤十字奉仕団等の協力により今年で67回目を迎えました。



永年加盟表彰状の授与



分科会でのグループワーク（中学校）